

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

クラブ会報委員会

会 場：アドバンテスト

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委員：岡田則之、島田修、反町清

大谷浩一、山本栄治

行田クラブハウス

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

第1906回 夜間例会 (1月6日)

3クラブ(行田・さくら・吹上)合同 新年賀詞交換会



会長挨拶

行田RC 黒淵会長



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には希望にあふれる新しい年を家族皆様とお迎えいただいたこと、お喜び申し上げます。

早いもので昨年7月、新たな年度が出発して上期が終了いたしました。昨年は皆様方のご支援を頂戴し、無事予定されていたことを終了でき、大変感謝

申し上げます。これからの下期に対しましても、よろしくご支援をお願い致します。

経済的には今年は少し昨年より悪いといわれており、私たち地域の中小企業にとっては相変わらず大変な年になりそうであります。

さて、昨年は大変多くの人災・天災が発生いたしました。それを締めくくるかのように12月26日に発生したスマトラ沖地震による津波により、多くの被害が出ております。マグニチュード9.0が引き起こしました災害は、幸い工業地域(多くの国で西側であったため)では被害を免れましたが、沿岸部での漁業・観光に影響が大きく出ております。

振り返って見ますと、阪神淡路大震災が発生したのは10年前の1月17日であったかと思えます。そのときは死者6,433人、行方不明3人、重軽傷者43,792人、被害額は約9兆円～12兆円といわれました。

今回の地震による津波の被害はまだはっきりとは
(次頁へつづく)

しておりませんが、それ以上であります。死者の数も15万人以上といわれ、被災された方は今日の小泉内閣メールによると500万人とも言われ、いまだに日本人も多くの方が連絡が取れずに、その行方が心配されております。

今、小泉首相はジャカルタでの緊急首脳会議に出席しておりますが、今回日本政府は、人・物・金の三本柱での支援を継続していくと発表いたしました。その支援額は支援金額で5億ドル、陸・海・空の自衛隊派遣人員を800人以上派遣する予定になっております。

民間企業も独自に支援を決め、トヨタ（1億円）・東芝（2千2百万円）・松下（2千万円）・三菱重工（1千万円）を始めとし、多くのグローバル企業がそれぞれ個々に支援を表明しており、個人でもF1のレーサーであるミハエル・シューマッハ選手が10億円の寄付を発表しました。又、マイクロソフト社のビル・ゲイツ会長夫妻が運営している、ビル&メリンダ・ゲイツ基金が合計で3億円、その他各界の多くの著名人がそれぞれ高額の寄付を申し出ております。

国際ロータリーも昨年12月29日にRI会長・財団理事長・RI事務総長が集まって、「南アジアロータリー財団援助」名の口座を開設することを決定し、寄付金の受付を始めたようであります。その件に関して世界各地のガバナー宛に、RI会長より親書が送られております。そして寄付について詳細は、RIの日本事務局または地区に問い合わせをとのことです。

しかし、この惨事をみて何もしないわけにはいかないのではないかと思います。新潟中越地震以上の被害が出ており、毎日報道されるその様子は日々その惨状のすさまじさを伝えております。その惨事に対して世界各国で支援の手が差し伸べられている時に、奉仕の理想を唱えているロータリアンとして被災地の方々に一刻も早い復興を願うのは当然のことではないかと思います。出来るだけ早い機会に結論を出して、義援金の拠出をしていきたいと思っております。よろしくご理解を頂きたいと思っております。

暗い話ばかりで無く、今年は愛知万博《愛・地球博》が「自然の叡智」をテーマに開催されます。大阪万博以来35年ぶり（大学卒業の年）、121カ国と5つの国際機関が参加、3月25日から9月25日まで開催されることになっております。自然との調和を図り、未来社会の実験場として地球環境と科学技術の融合を模索する場となっております。

私たちが将来どのような社会に住むことになるのか、ひとつのヒントが万博を通じて提供されそうです。次年度内山エレクトは見学の企画を考えているようですので、期待したいと思っております。

最後になりましたが、今年は第5グループのIMが行田クラブの主管で2月24日に開催されます。愛知万博のテーマではありませんが、地球環境の問題をとらえて、「水」の問題を中心にしたIMにしていきたいと思っております。よろしくご協力を御願いたします。

今日は3クラブの合同賀詞交換会です。ごゆっくりと交流を深めて頂き、実り有る1年を、語り合ってください。

それではこれで私の挨拶とさせていただきます。

行田さくらRC 田中会長



皆様、改めましておめでとうございます。会員皆様の御支援により、無事に上半期を終了する事ができました。深く感謝を申し上げ、本年も宜しくお願い申し上げます。

先程、黒淵行田RC会長が申されたように、昨年は災害の多い一年でしたが、今年は一月初の空の様に明るくのびのびと過ごしていければと思います。

昨年はチャリティーコンサートを開催いたしました。続いて本年も2月19日に、行田市教育文化センター「みらい」におきまして、ものづくり大学さくら奨学金勸募及び100周年記念事業として、ものづくり大学軽音楽部と田中利幸会員との共演による、チャリティーコンサートを開催致します。その際には、色々な御協力を皆様方に頂けなければならないと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

最後に本日の3クラブ合同賀詞交換会を開催するにあたり、行田RCの黒淵会長をはじめとする行田RC会員の皆様方の御尽力を頂きました事に、感謝を申し上げる次第であります。

吹上RC 坪山会長



皆様、おめでとうございます。行田RC会員の皆様方には、昨年8月の3クラブ合同例会、また今回の新年賀詞交換会、そして本年2月の「IM」の開催と、続いての御尽力を感謝申し上げます。次第です。

昨年は、鳥インフルエンザにはじまり猛暑、多くの台風襲来、中越地震、スマトラ沖大津波と続く、まさに災いの一字につきる一年でありました。今年は、明るく良い年になるように願っております。

1月5日の小寒、1月20日の大寒と、ここしばらくは寒い日々が続きますので、体調を整えられて乗り切られる様に頑張ってください。

当吹上RCも、御蔭様で会員様方の御協力を頂き上半期をなんとか経過する事ができました。残る下半期を無事に乗り切って、次年度のフレッシュな会長さんに引継ぎたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

懇親会挨拶

行田RC 黒淵会長

昨年は災害の多い一年でしたが申年とともに去って頂き、今年が良い一年になるようにこの懇親会を通じて盛り上げて行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

.....
諸貫第5グループガバナー補佐



明けましておめでとうございます。皆様方に於かれましては日頃RC活動に御尽力を頂きまして、御礼を申し上げます。

さて、本年は行田RCを主管として2月24日(木) 13:00~18:00アイトピアに於きまして、「IM」を開催致しますので御協力の程を、宜しくお願いいたします。

尚、行田RC会員の皆様方には全員役割分担がありますので、全員参加される事を強く要望いたします。

(詳しくは後日、役員会に於いて正式に決定する事になっております。)

出席報告

正会員数	75名	●	メイクアップ	2名
本日の出席者	45名	●	出席率	62.67%

